

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	消費者の法律1 (Consumer Protection Laws1) 393126-14500					担当教員	赤塚 浩一 (アカツカ コウイチ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要	民法の基礎、および、消費生活に関する知識を習得し、自立した消費者として責任を持った消費行動がとれる判断力を養う。「消費生活アドバイザー」試験の法律知識に関連した内容を扱う。
② ディプロマ・ポリシーとの関連	専門的知識・技能を活用する能力/職業人として通用する能力を養う。
③ 授業の進め方・指示事項	毎回の講義の終わりに知識定着のため小テストを行う。また、次回講義の初めに前回授業内容の振り返りと小テストの解答・解説を行う。第9回目には中間テストを行う。 学生は復習を中心に学習するとともに、小テストの自己の回答を見直し疑問点については講義資料等を調べて確認して欲しい。
④ 関連科目・履修しておくべき科目	特にない。
⑤ 標準的な達成レベルの目安	(i) 民法の中で契約に関する部分について基本的な知識がある。 (ii) 生活の中で消費者を守る法律や制度について概略的に理解している。
⑥ テキスト（教科書）	テキストは指定しない。各回レジュメを配布する。
⑦ 参考図書・指定図書	潮見佳男・中田邦博・松岡久和編(2019)『18歳からはじめる民法〔第4版〕』法律文化社 山野目章夫(2020)『民法 総則・物権 第7版』有斐閣アルマ 山本敬三(2018)『民法の基礎から学ぶ民法改正』岩波書店 池田真朗ほか(2020)『法学六法 21』信山社

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%	15%				15%		100%
(i) 民法の中で契約に関する基本的な知識	42%	9%				9%		60%
(ii) 生活の中で消費者を守る法律や制度の理解	28%	6%				6%		40%
フィードバックの方法	小テストは次回講義で返却し解説の時間を設ける。中間テスト後と期末テスト前に評価点数の情報をフィードバックする。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生との双方向のコミュニケーションを意識した授業を目指していく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	民法の基礎①（イントロダクション）	筆記用具	配布資料および「社会の扉」について復習する。	60分
2	民法の基礎②（民法の成立、契約の成立）	筆記用具 配布資料	実際に六法を手にとって民法の構成を確認するとともに、契約の成立条件について整理する。	60分
3	民法の基礎③（契約の効果と解除）	筆記用具 配布資料	契約が無効や取り消しになる条件について復習する。	60分
4	民法の基礎④（未成年契約）	筆記用具 配布資料	意思能力・行為能力の違い、未成年の契約取り消しについて復習する。	60分
5	民法の基礎⑤（成年後見制度）	筆記用具 配布資料	行為能力の制限と成年後見制度の関係について復習する。	60分
6	民法の基礎⑥（代理）	筆記用具 配布資料	代理の要件、無権代理、表見代理の効果について復習する。	60分
7	民法の基礎⑦（時効）	筆記用具 配布資料	取得時効と消滅時効の要件について復習する。	60分
8	民法の基礎⑧（所有権）	筆記用具 配布資料	不動産と動産の物権変動の違いについて復習する。	60分
9	中間テスト	筆記用具	過去の小テストでできなかった問題について配布資料を復習する。	60分
10	消費者保護の法律①（クーリングオフ）	筆記用具 配布資料	クーリングオフの必要性和要件について復習する。	60分

11	消費者保護の法律②（クレジットの利用）	筆記用具 配布資料	クレジットカードの仕組みと支払方法について復習する。	60分
12	消費者保護の法律③（多重債務、税）	筆記用具 配布資料	多重債務問題と関連する法律について復習する。	60分
13	消費者保護の法律④（ネットショッピング）	筆記用具 配布資料	ネットショッピングに伴う問題点について復習する。	60分
14	消費者保護の法律⑤（不動産取引）	筆記用具 配布資料	不動産の売買などの取引における問題点について復習する。	60分
15	全体の振り返り	筆記用具 配布資料	自分の知識があいまいな点について過去の配布資料を見直す。	60分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型、ALを採用する。質疑応答、小テスト、復習を中心にして基礎的な知識を正確に理解してもらう。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

I C T企業に勤務し、経営計画・事業計画の策定、インターネットを前提にした新規ビジネスモデルの構築・運用等を担当した。新ビジネス推進に欠かせない民法・個人情報保護法・知的財産権法等の法規制、マネジメントシステム、情報セキュリティ等の関連業務も並行して担当した。

また中小企業診断士・技術士として、県内外の中小企業の経営課題・技術課題の解決を支援してきた。

##### 実務経験と授業科目との関連性

デジタルトランスフォーメーション時代の、インターネットを前提にした新たなビジネスモデルの、企画・構築から運営までの全プロセスを知る者として、消費者問題の発生原因を企業と消費者の両方の視点から説明し、回避策を両者の立場から説明することができる。